

会宝お客様通信

笑顔こぼれる みんなのミニ情報誌

5月号

ほほえみ Hohoemi

ぽすと Post



脱・解体業！

皆さんこんにちは、近藤です。

日経情報ストラテジー4月号の発見！イノベーション企業に当社が掲載されました。日経新聞や日経ビジネスならば見たことはあるのですが、失礼ながら日経情報ストラテジーは知りませんでした。

インタビューを受けた私のコメントが載っています。いつも言っていることですが、まずは「解体業というマイナスのイメージを取り払い、業界全体が認められるようにしたい」ということ。「トヨタを代表とする日本の自動車産業は世界的に評価されている。この自動車製造業を動脈とたとえれば、我々は自動車をリサイクルする静脈産業である。廃車はゴミと見られてしまうが、希少金属を含有する有益な資源である。都市鉱山と呼ばれるように、自然の資源に比べてはるかに高い含有率と聞く。有効に活用すれば宝の山だ。環境問題が叫ばれるなか、

資源は循環させなければならぬ。静脈産業を築くために、業界全体で協力し合っていく」

「業界全体の底上げで重要なのは、解体に関するノウハウの共有である。

自動車メーカーには組み立てマニュアルはあっても、解体するための手順書なんてない。これは我々のような中古部品販売業者が長年培ってきたノウハウである。一定の品質水準に達した部品だけを市場で流通させるにはノウハウの共有が不可欠だ。解体作業のマニュアル化に取り組み、同業者と連携して「自動車リサイクル技能者」制度を作った」

「IREC(インターナショナル・リサイクル教育センター)という研修施設も設け、海外の取引先からも受け入れている。私自身も講師の一人として教鞭をとって授業を行っている。中国などから、延べ16人の研修生を受け入れてきた。2月には各国の大使などを招いて2回目となる「国際リサイクル会議」を開いた。こうした取り組みを通じて、意識改革や業界全体の底上げを図る」

この雑誌の中では語られてませんが、私は自動車リサイクル業はサービス業と考えています。仕入先のお客様たちにどうすれば喜んでいただけるか？商品を買っていただく外国の方々に満足していただくためにどうするか？当社と関わった人たちには、皆、幸せになってもらいたい。

お客様が望まれることを追求し、提供するのが私たちの仕事です。



～広報コーナー～ ✨キラリと光る存在に

2008年4月25日(金) 北國新聞より (注目される会宝産業) ✨



会宝産業(金沢市)では、同社工場を見学し、写真、自動車解体リサイクル事業の説明を受けた。一行によると、大連市では自動車台数の増加率が年間10%以上に達し、今後想定される廃車時の処理が問題化しているという。

アルプ(同)で開かれた「環境会議」では、会宝産業側が今後、中国人研修生の受け入れを進める方針を説明。アルプの古賀克己会長があいさつし、訪問団の梁宏君団長は、今後も連携を強めていく意向を示した。大連市が造成したリサイクル産業団地への県内企業の進出も呼び掛けた。

心と心のリレーエッセイ ～次はあなたの出番です～

◎ セルフのスタンドは要注意 ◎



皆様こんにちは、生産部の宮村です。今年の2月で入社5年目を迎えました。本社工場で液処理作業を担当しています。転職組みで長年営業の仕事に携わってきました。カバン片手に営業活動をしていた自分が、今はフォークリフトを操り、インパクトレンチを回す毎日です。自分でも変貌ぶりには驚きます。最近仕事をしていてビックリした事があります。スラストカッター(ガソリン回収機)という機械で燃料タンクに穴を開けたのですが、中から出てきたのはガソリンではなく、軽油です。ディーゼル車と間違えたのかと慌ててエンジンを確認しましたが、ガソリン車です。最近では、セルフのガソリンスタンドが主流ですね。セルフサービスのガソリンスタンドで給油される方が多いので間違えて給油されたものと思われま。当然エンジンは不調ですね。簡単なミスですが自分にもあてはまる事で、気をつけなければいけないと自身に言い聞かせ日々の作業を楽しく行っております。

・今週の出番・

生産部
宮村 雅好さん

車輛課からの お得な耳より情報



玄関収納でスッキリと！

玄関は住まいの顔。いつもスッキリさせておきたい場所ですが、置きたい物もたくさんあるでしょう。靴や傘はもちろんコート掛けや帽子などを置くスペースもあれば便利です。灯油などの重たいものも収納できればさらに良しです。しかし、それだけの収納スペースを確保するのは簡単ではありません。

そこで一つの方法として、玄関に作り付けの収納室を作ってみてはいかがでしょうか。玄関面積に余裕があればウォークインタイプの収納室を。玄関ホールに階段があれば階段下を利用す

るのも手です。天井までの「高さ」や「すき間」を上手に活用すると収納量が増え、玄関をスッキリ見せることができます。また、扉や粋な暖簾(のれん)などで収納を隠すと雑多な感じになりません。



08年3月の車両処理実績			
フロンガス	破壊	Kg	356
	再利用	Kg	
エアバッグ	個		260
廃オイル	リットル		11,950
LLC	リットル		5,000
入庫台数	一般	台	1,675
	投棄	台	
処理台数	台		1,502
廃車ガラ量	トン		792

今月のクレーム

ドア



皆様こんにちは大森です。

今回はドアのクレームです。中古部品の多くは廃車になった車両から厳選して部品取りをしています。車の状態は様々で、エンジン、ミッションの駆動が駄目になったものや、事故での外装破損などがあります。特に外装破損の事故車からの部品取りには注意を払っています。擦り傷やへこみ、曲がりや車から取り外した後、洗浄と光をかざしての目視で確認することができるのですが、事故

車の場合には「歪み」というものがあるのです。

今回はこの「ドアの歪み」でご迷惑をおかけしてしまいました。車体にもきちんとついていて、へこみや傷のないドアだったのですが、少し大きい事故だったため「歪み」が発生し、正常な車に取り付けた場合に隙間ができてしまうというものでした。事故状況にも注意をし、お客様に間違いのない商品をお届けできるよう努めています。

会宝産業株式会社 金沢市東蚊爪町1-25

部品課TEL 076-237-5138

FAX 076-237-6090

E-mail kokunai@kaiho.co.jp

車輛課TEL 076-237-5133

FAX 076-237-1950

E-mail info@kaiho.co.jp

営業時間/8:30-18:30 日・祝日休業

<http://www.kaiho.co.jp>



素足が目立つ夏におけて ~キッチリ水虫予防~

女性の3人に1人が水虫を経験しているそうです。ジムやプール、お風呂マット、トイレや病院のスリッパなどで感染することが多く、ブーツの流行やストッキング着用なども女性の水虫増加の一因です。

水虫はカビの一種である白癬（はくせん）菌が原因で、誰にでも移る病気です。ただ、普通はその日のうちに足を洗って乾かせば感染しないと言われています。白癬菌が繁殖しやすいこれからの季節はとくに1日1度は足の指と指の間まで丹念に洗い、しっかり乾かす習慣をつけたいものです。

水虫だと分かっていたら市販薬での治療も可能で

すが、症状が似ているほかの病気の可能性もあるので、一度は医師の診断を受けるほうが無難です。また白癬菌は非常に生命力が強くしつこいので、治療には少なくとも1ヶ月はかかるとか。根絶するまでは治療を中断しないように気をつけましょう。夏に向けて美しい素足でサンダルを楽しめるように今から対策しておきたいですね。



こんなとき ぞーする!?

年中行事から

冠婚葬祭まで

~母の日~ 起源はアメリカにありました

「母の日」はアメリカで始まった行事です。その起源には諸説ありますが、アメリカのフィラデルフィアに住んでいたアンナ・ジャービスという女性が他界した母親を想い、支援者たちと共に全国的な「母の日」の普及運動を始め、彼女の母親の命日だった5月の第2日曜日に「母の日」を祝ったのが始まりと言われています。それが全米中で共感を呼び、当時のウィルソン大統領がその日を「母にカーネーションを贈り、感謝する日」と制定しました。

日本に伝わってきたのは大正時代。教会を通じて伝わりました。しかし、一般に普及したのは戦後を迎えてからだそうです。

母の日にカーネーションを贈る理由は、その花のことわざに由来します。カーネーションは女性の

愛、清らかな愛といった母性愛を強く示す花で、「母への愛」の象徴でした。また、母の日の提唱者アンナのお母さんがカーネーション好きだったことも理由のひとつです。

近年ではカーネーションの花束のほか、アレンジメントや長く楽しめる鉢植え、生花を加工したブリザードフラワーなど選択肢が増えてきました。カーネーションだけでなく小物やアクセサリー、お母さんの好きな食べ物などをプレゼントしたり親子で一緒に食事をしたりと、感謝の気持ちの伝え方もバリエーション豊かになりました。

いつの間にか自分が「ありがとう」とカーネーションを贈られる立場になった方も多いでしょう。母の日は嬉し恥ずかしですね。

